

能美市長選挙および 能美市議会議員補欠選挙の結果

1月31日執行の能美市長選挙および能美市議会議員補欠選挙は、告示日である1月24日の午後5時において、届出のあった立候補者数が選挙すべき人数を超えなかったため、再選挙とも無投票となりました。

能美市長選挙

〔当〕井出敏朗（無所属）無投票
任期は令和3年2月27日～
令和7年2月26日です。



能美市議会議員補欠選挙

〔当〕今尾晃司（無所属）無投票
任期は令和3年2月1日～
令和3年10月31日です。



能美市選挙管理委員会の 新委員を紹介します

委員の任期満了に伴い、能美市選挙管理委員会が2月4日に開催され、委員長に松岡勝司さん、委員長代理に林忠男さんが選出されました。同委員会の委員は次のとおりです。（敬称略）
任期は令和3年2月4日～令和7年2月3日です。

◆選挙管理委員
松岡 勝司（牛島町）
林 忠男（緑が丘）
吉田 健造（吉原釜屋町）
林 雅子（中町）

「大規模災害時における通信サービス 確保のための連携訓練」を実施

能美市は総務省と合同で、2月12日、「大規模災害時における通信サービス確保のための連携訓練」を実施しました。

訓練は、能美市直下を震源とする大地震が発生し、県内の広い範囲で通信が途絶しているとの想定で、能美市内の通信機能を復旧させるというもので、総務本省、北陸総合通信局、金沢地方気象台、石川県及び電気通信事業者5者（NTT西日本・NTTドコモ・



訓練の様子

KDDI・ソフトバンク・北陸電力）が参加しました。訓練では、市災害対策本部において、危機管理課職員が被害状況について報告した後、井出市長から速やかに通信の復旧に取り組むよう指示がありました。その後、通信関係者等による調整会議を行い、被災状況の把握を進めるとともに、当局の移動電源車や衛星携帯電話の貸与等の手続きなどを経て、復旧を加速化するという手順で行いました。

また、石川県災害対策本部においても、県内の被災状況を確認しながら、被害が大きい能美市への支援に関する連絡調整を行いました。当日は、屋外において電気通信事業者5者により、災害時に活用が期待される移動電源車や可搬型衛星アンテナ等のデモンストラクションも行われました。

令和3年の町会・町内会長をお知らせします

地域の世話役として、また住民の皆さまと市役所を結ぶ大切なパイプ役として活躍されている町会・町内会長は、まちづくりをよりスムーズに進めていく上で、要となる方々です。（敬称略）

町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
倉重町	大滝 勝永	佐野町	辰巳 平一	倉重町	大滝 勝永
出口町	米田 毅	泉台町	加藤 綾子	出口町	米田 毅
辰口町	畔田 保之	湯谷町	西田 啓	辰口町	畔田 保之
湯屋町	北山 雄二	石子町	中 誠	湯屋町	北山 雄二
上徳山町	大江 勉	末寺町	松本 幹夫	上徳山町	大江 勉
下徳山町	竹本 孝志	秋常町	北野 賢一	下徳山町	竹本 孝志
上開発町	片山 國男	新保町	田中正人	上開発町	片山 國男
下開発町	北 建一	粟生町	重田 勝年	下開発町	北 建一
徳久町	清水 敏人	三道山町	中西 紀三夫	徳久町	清水 敏人
荒屋町	喜多 外茂二	吉光町	油 和之	荒屋町	喜多 外茂二
高座町	中田 浩一	東任田町	佐々木 純樹	高座町	中田 浩一
下清水町	中川 功市	緑町	木津 衛	下清水町	中川 功市
上清水町	竹田 一春	和佐谷町	谷本 二郎	上清水町	竹田 一春
北市町	松田 浩二	岩本町	滝本 龍一	北市町	松田 浩二
和気町	東 尚良	灯台笹町	山下 正幸	和気町	東 尚良
和光台	辻 晴美	大町町	小坂 保司	和光台	辻 晴美
寺島町	南 憲明	宮竹町	橋場 里志	寺島町	南 憲明
館町	前田 啓人	三ツ口町	村上 信男	館町	前田 啓人
金剛寺町	紙野 勇	長滝町	中川 秀和	金剛寺町	紙野 勇
坪野町	高田 浩	筋生町	元村 紀人	坪野町	高田 浩
鍋谷町	辻 幸徳	岩内町	伴場 博夫	鍋谷町	辻 幸徳
仏大寺町	向出 裕行	火釜町	南 和夫	仏大寺町	向出 裕行
緑が丘	福田 昭夫	来丸町	東 茂昭	緑が丘	福田 昭夫
松が岡	南 盛二	山田町	和多 智	松が岡	南 盛二
		三ツ屋町	宮下 敏広		

災害伝承講演会を開催

能美市は2月14日、災害伝承講演会を市防災センターで開催し、約60人が参加しました。東日本大震災当日、住民たち自ら迅速に避難行動を開始した仙台市福住町。後に「福住町方式」と評価された、その取り組みの中核的存在である大内幸子さん（仙台市地域防災リーダー）を語り部に招き、地域防災を学びました。

大内さんは「私たちは災害の被害を皆無にすることはできないが、軽減する減災はできる。全国どこでも災害が起きる時代。危機意識を持ち助け合い、乗り越えて」と訴え、参加者は真剣に耳を傾けていました。



自身の被災体験を語る大内さん

コンサート中に災害発生！ 防災ミニコンサート with 避難体験を開催

コンサートの最中に災害が発生したらどうする...そんなケースを想定した防災ミニコンサート with 避難体験が1月24日、市防災センターで開催されました。

白石英恵さんによるサウルハープや、能美オカリナ倶楽部きららスマイルの皆さんによる演奏が披露される中、突然、地響きの音とともに緊急地震速報が鳴ると、参加者は身を守るポーズをとり、その後屋外に避難しました。

参加者は「音楽で癒され、家族と一緒に緊急時の対応も学ぶことができた」と話しました。



突然の地震から身を守る参加者の様子

川端修氏がスポーツ指導者等表彰を受賞

県弓道連盟参与であり能美市弓道協会名誉会長である川端修さん（大成町）が公益財団法人日本スポーツ協会からスポーツ指導者等表彰を受賞しました。川端さんは、県弓道連盟の中核役員としての活躍され、また選手育成や初心者教室の講師を務めるなど、長年にわたって指導されました。県内の弓道関係者の受賞は初めてです。

2月4日、川端さんが市役所を訪れ、受賞の喜びを井出市長に報告しました。

川端さんは「弓道は老若男女ハンデがないのが良いところ。これからも弓道を通して、『的（目標）』に向かって生きていきたい」と話しました。



川端さん（左）と井出市長

市内小中学校のためにご寄附 ハウメット・ジャパン株式会社へ感謝状

ハウメット・ジャパン株式会社から市内小中学校へ理科教育の推進および新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4万米ドルのご寄附をいただきました。

1月14日、井出市長が同社を訪問し、ダヴィッド・ランペール代表取締役社長へ感謝状の贈呈を行いました。

井出市長は「電子黒板等の購入やGIGAスクール構想に伴う機器整備費に使わせていただきました。ありがとうございます。ぜひ授業の雰囲気を見に来てください」と御礼を述べました。



ダヴィッド・ランペール社長（左）と井出市長

能美の女組に消防車両を配備しました

2月10日、（公益財団法人）日本消防協会より能美市消防団に交付を受けた消防団防災学習・災害活動車両のお披露目を能美市役所にて行いました。

車両には防災学習資機材や災害活動資機材が多数付属されており、今後は主に

能美市消防団女性分団（能美の女組）が地域住民の防火思想の向上を目的に、広報活動等に活用して行きます。



お披露目の様子



配備された消防車両

能美市民環境ネットワーク主催 小中学生「環境標語」入賞作品決定

家庭でのエコ活動や能美市の自然環境をより意識してもらうために、市内各小中学校から募集した「環境標語」の優秀作品3作、入選30作が決まりました。賞状や副賞は各学校を通じて伝達されました。

優秀作品（敬称略）

- ◆ゴミ拾い 誰かじゃなくて自分から 筒井蒼太（福岡小6年）
- ◆分別はごみをへらす 第一歩 小梁美空（宮竹小4年）
- ◆守るため トキもえさ場もよく知ろう 山本旺輝（和氣小6年）

金剛寺町自主防災組織が知事表彰を報告

1月19日、令和2年度自主防災組織等知事表彰を受賞した金剛寺町自主防災組織の紙野勇会長と同組織で防災士の小路雅広さん、田中英美子さんが井出市長に受賞の喜びを報告しました。

金剛寺町は、町会行事には多くの町民が参加するなど、日ごろからの見守りの意識も町全体に根付き自治意識の高いまちであり、平成27年度に金剛寺町自主防災組織を結成以降、町全体で継続的な活動を行っている組織であることが評価されました。



左から田中さん、小路さん、井出市長、紙野会長

車椅子3台を寄贈 辰口自動車販売株式会社へ感謝状

辰口自動車販売株式会社から市へ車椅子3台を寄贈していただきました。

2月8日、室谷眞一代表取締役社長と、同社と提携している、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の富加見俊彦支店長が市役所を訪れ、井出市長から室谷社長へ感謝状が手渡されました。

井出市長は「福祉充実のために、大切に使用していただきます」と御礼を述べました。車椅子は社会福祉協議会で活用していきます。



室谷社長に感謝状が手渡されました

祝百寿 原田さん おめでとーございます

1月16日、原田芳昇さん（浜町）がめでたく100歳を迎えられ、井出市長からお祝い状と記念品が贈呈されました。

花木が好きで盆栽が趣味の原田さん。現在も杖を必要とせずしっかりと歩かれています。好物はステーキで、何でも好き嫌いがなくゆとり召し上がるそうです。

長生きの秘訣は「普段から運動すること、物事にこだわらないこと」と話され、ご家族に囲まれて「おかげ様でありがとうございます」と笑っておいででした。



ご家族に囲まれる原田さんと井出市長

祝百寿 打田さん おめでとーございます

2月11日、打田弘司さん（大成町）がめでたく100歳を迎えられ、井出市長からお祝い状と記念品が贈呈されました。

打田さんは、お仕事は国鉄で働いたり、靴屋を営んでいたそうです。

野菜や果物、お刺身が好物で、長寿の秘訣は「何でも好き嫌いせずよく噛んで食ふこと」と話され、さつまいもなどを畑で作り配ったりすることが楽しかったと教えてくれました。



井出市長と打田さんご家族